

充電ラジオクロック (デジタル電子音目覚まし時計) 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損傷の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◆誤飲による事故防止について

小さな部品やボタン電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

◆アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

◆電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れてください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

◆液晶について

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

主な特長

- ①時計機能
 - 時刻表示、アラーム、スヌーズ機能、タイマー
- ②AM/FMラジオ
 - AM、FMラジオに加え、テレビの1～3チャンネルの音声を受信することができます。また、ラジオをアラーム音として使用することができます。
- ③非常用ブザー
 - 大きな音で位置を知らせることができます。
- ④懐中電灯
 - 暗闇で役立つLEDライトがついています。
- ⑤手回し発電(ダイナモ発電)
 - 電池が切れても手回し発電機により内蔵電池に充電することが出来ます。
- ⑥携帯電話充電機能
- ⑦多少の雨や雪、水しぶきがかかっても使えます
 - 屋外でも使える「防水(JIS IPX4級相当)」

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

◆使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+40℃(40度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所、暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が0℃以下になる所。(性能が低下することがあります。)
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、6年を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスを受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

お問い合わせ先

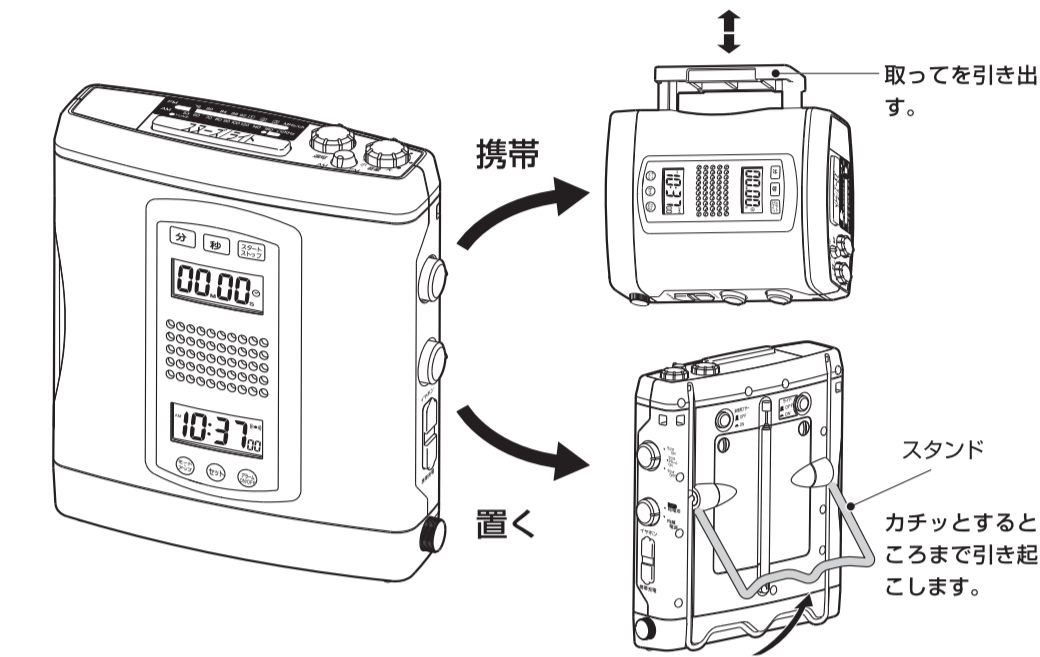
アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、底面や裏面などに表示してある製品番号(型番)をお伝えください。(例. 8RDA〇〇)

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y0804)

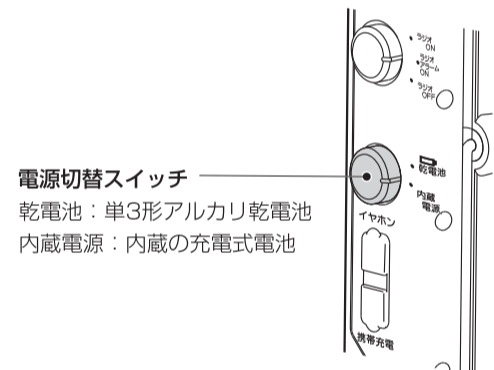
設置・持ち運び



1 電源

乾電池と内蔵電池の2つの電源が使用できます。切り替えは、電源切替スイッチで行います。

○内蔵電池は、ハンドルを回すことにより充電することができます。



電源切替スイッチ
乾電池：単3形アルカリ乾電池
内蔵電源：内蔵の充電式電池

乾電池の入れ方

- ① アンテナを下方に動かす
- ② ねじを緩め、電池ふたを取る
2つのねじを10円硬貨などで左に回して緩め、電池ふたを取り外してください。
- ③ 電池を入れる
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。電池を逆向きにいれると正常に動きません。
※松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は使用しないでください。使用した場合、液晶表示が正常に見えなくなることがあります。
- ④ 電池ふたを取り付け、ねじを締める
- ⑤ アンテナを戻す

※静電気により、時計が正常に動かなくなることがあります。このようなときは、リセットを押してください。

電源の確認

乾電池が消耗した状態で放置すると液もれが発生し、故障や汚れの原因になります。

電源切替スイッチが乾電池のとき、つぎのような現象が現れたときは、速やかに乾電池をすべて新しいものに交換するか、乾電池を取り出してください。

- ラジオが聞こえない、音が小さくなったりひずむ。
- LEDライトが暗い、または点灯しない。
- 非常ブザーの音が小さい、または鳴らない。
- 時計の表示が薄い。

※乾電池を常用しない場合も、1か月に1回程度上記の確認をしてください。

電源切替スイッチを内蔵電池にしたときに、上記と同様な現象があるときは、ハンドルを回し、充電をしてください。

アラーム、タイマーを使用するときの注意

- タイマーおよびアラームは時計用乾電池のみでは使えません。すべての乾電池を入れるか、電源切替スイッチを内蔵電池にしてください。
※内蔵電池を使用するときは充電してください。
- イヤホンが接続されていると、アラーム音はイヤホンから流れます。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、汚れることがあります。定期的な掃除をしてください。

主な仕様

使用温度範囲 0～40℃
電源 DC4.5V 単3形アルカリ乾電池 3個
DC1.5V 単3形アルカリ乾電池(時計) 1個
または内蔵のニッケル水素電池

時計部
時間精度 平均月差 ±30秒
アラーム精度 表示時刻に対して±0秒
アラーム音 電子音(鳴り方が変化)
時刻表示 AM/PM付12時間制/24時間制切替式
ラジオ部
受信周波数 FM:76～108MHz z (TV1～3ch)
AM:540～1600kHz
スピーカー 直径3.6cm 丸形8Ω
出力端子 イヤホン端子
最大出力 200mW(乾電池使用時)

- 液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
- 0～40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了します。地上アナログテレビ放送終了後は、本商品ではテレビの音声を聞くことは出来ません。

乾電池使用時の持続時間(参考)
※機能を単独で使用したときの持続時間です。
FMラジオ：20時間(音量中位)
AMラジオ：24時間(音量中位)
LEDライト：18時間
非常ブザー：13時間

防水性についてのご注意

本商品はJIS IPX4級相当に設計してあります。

定義：あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を及ぼさないもの

屋外などでお使いいただくために防水機構になっておりますが、つぎの点を守ってください。守られない場合、故障の原因になります。

- 電池ふた、端子カバーは必ずきっちりと取り付けてください。閉めないで防滴効果がなくなります。
- ぬれた手で電池の入れ替え、携帯充電、イヤホンの操作をしないでください。
- 石鹸や洗剤のついた手でさわらないでください。
- 湿気の多い浴室などで長時間放置しないでください。
- 大量の水をかけないでください。
- 水の中につけないでください。
- 水がかかったり、水中に落ちた場合はすぐに引き上げて、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- スピーカー内に水が入った場合は、本体をさかさまにして水を出してください。

2 時計の使い方

※操作中に約5秒間ボタン操作をしないと時刻表示に戻ります。
※時計の操作には、複数のボタンを同時に押す操作はありません。

時刻の合わせ方

①時刻合わせモードにする

セットボタンを約3秒間押し続けます。→12Hrまたは24Hrが表示されます。

※時刻合わせをするときは、AL表示が無いときにセットボタンを押してください。

②時刻の表示形式を選択する

12Hr: AM (午前) PM (午後) 付の12時間制
24Hr: 0:00~23:59:59 24時間制
モード・アップボタンを押すたびに交互に切り替わり、セットボタンを押すと確定します。

③「時」を設定する

モード・アップボタンを押して「時」を合わせます。セットボタンを押して確定します。

※12時間制を選択しているときは、AM/PMの表示に注意して設定してください。

※モード・アップボタンを押し続けると早送りになります。

④「分」を設定する

モード・アップボタンを押して「分」を合わせます。セットボタンを押して確定します。セットボタンを押したとき、秒は00になります。

アラーム時刻の合わせ方

①アラーム時刻モードにする

モード・アップボタンを押し、アラーム時刻を表示させます。アラーム時刻のときは「AL」の表示があります。

②アラーム時刻設定モードにする

セットボタンを約3秒間押し続けると「時」が点滅し、アラーム時刻設定モードになります。

③アラームの「時」を設定する

モード・アップボタンを押して「時」を合わせ、セットボタンを押します。

④アラームの「分」を設定する

モード・アップボタンを押して「分」を合わせ、セットボタンを押します。現在時刻の表示に戻ります。

アラームのON/OFF設定

アラームボタンを押すと、ON/OFFが交互に切り替わります。アラームが「ON」のときは、アラームマークが点灯します。アラーム音を止めるときまたはアラームを鳴らさないときは、アラームボタンを押して、アラームマークを消してください。

アラーム音の選択

アラーム音は3段階で鳴り方が変化する電子音とラジオから選択することが出来ます。

使用するアラーム音

ラジオ: ラジオスイッチを「ラジオアラームON」

電子音: ラジオスイッチを「OFF」

※ラジオを選択したときには、事前に選局して、音量を調節してください。

※電子音の音量は調節できません。

スヌーズ/ライト機能

アラームが鳴っているときにスヌーズ/ライトボタンを押すと、約5分間アラームが停止し、その後再び鳴り出します。スヌーズ状態のときは「ZZ」マークが点滅します。スヌーズを止めるには、アラームスイッチを押して「OFF」にしてください。スヌーズは5回まで繰り返し使えます。スヌーズボタンはライトボタンも兼ねています。約3秒間時刻表示部を照明します。

アラームオートストップ機能

アラームが鳴っているときにそのまま放置した場合、時間が経過すると自動的に止まります。

電子音: 鳴り出し後約2分

ラジオ: 鳴り出し後約30分

オートストップした場合、アラームは「ON」状態のままです。翌日の設定時刻になるとまた鳴り出します。

3 タイマー・ストップウォッチの使い方

●分と秒のボタンを同時に押すと表示が00M00sになります。

減算タイマー

設定可能範囲

分: 00~99分 秒: 00~59秒

①時間の設定

分または秒ボタンを押して時間を設定します。「分」または「秒」ボタンを押してすぐ離すと1分または1秒繰り上がります。ボタンを押し続けると早送ります。タイマーが減算しているときや点滅しているときは分および秒ボタンは使えません。

②タイマーのスタート

スタートストップボタンを押します。1秒単位に減算を開始します。

表示が00M00sになると表示が点滅し、アラームが鳴ります。アラームは30秒後に自動的に停止します。

③タイマーのストップまたはアラーム音を止める

スタートストップボタンを押します。減算中に押すと停止し、▼マークが点滅します。再度スタートストップボタンを押すと減算を開始します。アラームが鳴っているときに押すと、アラーム音が止まり、セットした時間を表示します。

スタートストップボタンを押します。1秒単位に減算を開始します。

表示が00M00sになると表示が点滅し、アラームが鳴ります。アラームは30秒後に自動的に停止します。

計時中にスタートストップボタンを押すと中断します。再度スタートストップボタンを押すと再開します。

カウントが90M00sになるとアラームが30秒間鳴ります。アラームを止めるには、分と秒ボタンを同時に押してください。

●計時を途中で中止するには、分と秒ボタンを同時に押してください。

計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

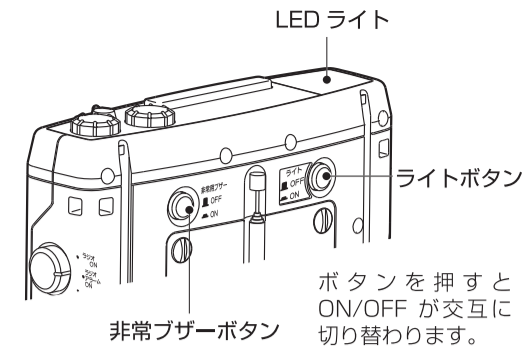
計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

計時中は▲マーク。中断中は▲マークが点滅。

4 非常ブザーおよびライトの使い方

5 ラジオの使い方

※静電気により、時計およびタイマーが正常に動かなくなることがあります。このようなときは、リセットを押してください。



非常ブザー

非常ブザーを「ON」にするとブザーが鳴ります。止めるときには「OFF」にしてください。非常ブザーの音量は調節できません。

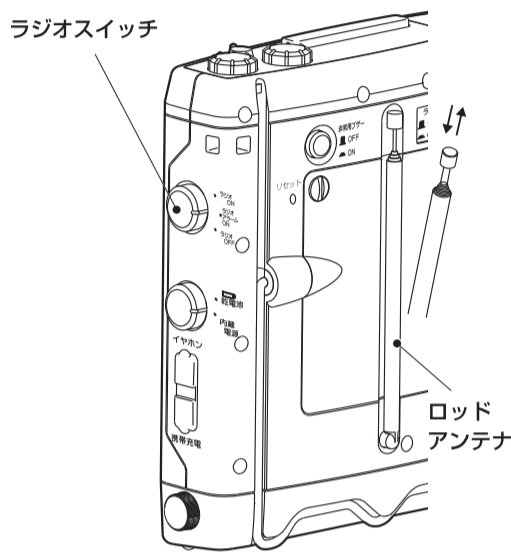
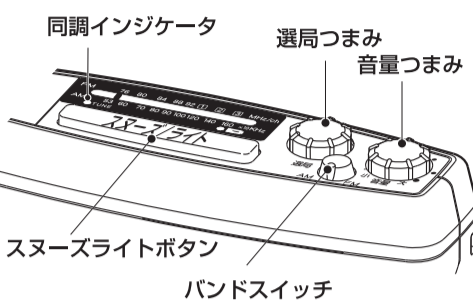
LEDライト

ライトを「ON」にすると点灯します。



ライトを直接見つめないでください。目を傷める危険性があります。

6 充電機能の使い方



ラジオを聞くには

- ①ラジオスイッチを「ラジオON」にする
- ②バンドスイッチでFMまたはAMを選ぶ
TV1~3ch放送はFMを選びます。
- ③選局つまみを回し、放送局を選ぶ
放送を受信すると同調インジケータが点灯します。
- ④音量つまみを回し、音量を調節する

ラジオを切るには

ラジオスイッチを「OFF」にします。

受信状態をよくするには

AM放送

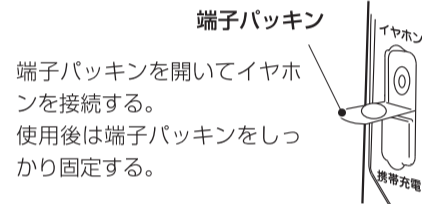
バーアンテナを内蔵しているため、受信状態が最もよい方向に本体を向けます。

FM・TV 1~3ch放送

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最もよくなるように長さや向きを変えます。アンテナを操作するときは、アンテナの付け根部を操作してください。先端を持つたり、過剰な力を加えるとアンテナが破損することがあります。

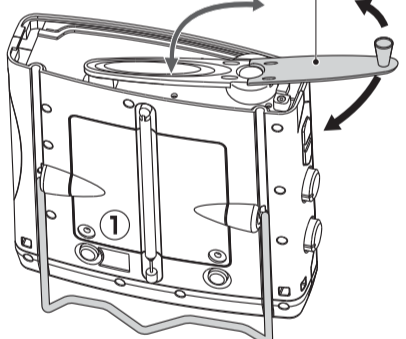
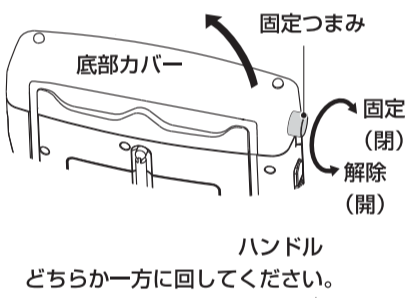
イヤホンで聞くには

市販のステレオタイプ(ミニプラグ)でオーディオ用を別途ご用意ください。家電量販店などで入手できます。イヤホンを端子パッキンを開き、「イヤホン」端子に接続してください。イヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。



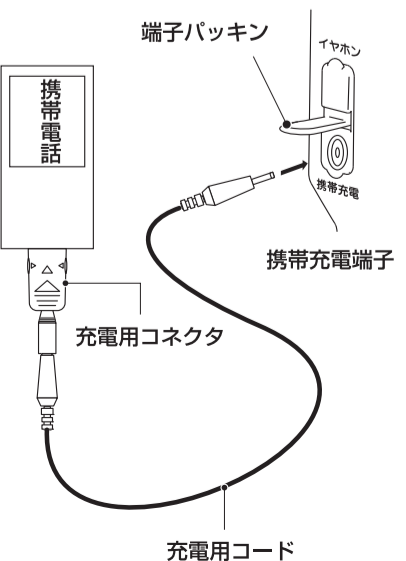
7 充電機能の使い方

発電用のハンドルを回すことにより、内蔵電池または携帯電話に充電することができます。



【携帯電話に適した充電コネクタを選択】

充電コネクタの形状が図と異なることがあります。充電コネクタの表示を確認して選んでください。



発電の仕方

- ①アンテナを所定の位置に収納し、スタンドを上側に固定します。
- ②固定つまみを回して底部カバーを取り外します。
- ③ハンドルを引き起こし、回し始めはゆっくり、その後は1分間に120回程度のペースで回転させます。発電状態になると発電ランプが点灯します。
- ④充電後は、ハンドルを元の状態に戻してください。



ハンドルを回すペースは、指定のペースを守ってください。早く回しすぎると過電流が流れ、障害が発生することがあります。

※発電時にラジオにノイズが入ることがあります。

内蔵電池への充電

内蔵電池の電圧が低下したとき、充電することができます。※携帯電話充電用コードが接続されていると、内蔵電池に充電することができません。

携帯電話への充電

NTTドコモ、au、ボーダフォンまたはソーカークの携帯電話に充電ができます。機種によっては適合しないものもあります。詳しくは添付の「対応機種一覧表」を参照してください。PHSには使用できません。

- ①携帯電話の電源を「OFF」にします。
- ②充電する携帯電話に適した付属の充電用コネクタを充電用コードの一端に接続し、携帯電話に接続します。
- ③充電用コードのもう一端を本商品の「携帯充電」端子に接続します。
- ④ハンドルを1分間に120回程度の割合で回転させます。
- ⑤充電が終わったら、本商品および携帯電話から充電用コードおよび充電用コネクタを取り外します。

携帯電話充電時のご注意

- 本商品による充電は、携帯電話専用の充電器が使用できないときのみ使用してください。
- 携帯電話の電池残量が十分なときはそれ以上充電しないでください。過充電となり、携帯電話に障害が発生する恐れがあります。
- 完全に放電しきった携帯電話への充電はできません。
- 早く回しすぎると過電流が流れ、携帯電話に異常が発生することがあります。
- 本商品の使用により、携帯電話が通話できなくなる、メモリが消失するなどの障害が発生しても、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

持続時間の目安

機能	単独で使用した場合の持続時間
LEDライト	約10分以上
ラジオ	約30分以上
非常ブザー	約10分以上
携帯電話	約1分間の音声通話 または約30分の待ち受け状態。

※機種や内蔵電池の状態で変化します。